

# 授業見学に参加して学んだこと

就職支援室

川端敦

今回の授業では公務員試験対策として判断推理（図形）分野を扱っていましたが、難解な分野や解説がない設問に対する授業の進め方について、総長先生のご指導方法を明確に理解させていただくことができました。

西山先生が授業を開始される際に総長先生から「この問題には。解説がない。このままでは学生がわからない」「色を塗るなどして、まず解説をするように」とのご指導がございました。ご指導を踏まえ、西山先生は正四面体の面の色分け作業を「○」「×」を使って行い、より具体的にポイントを指摘されていきました。こうした工夫を行うことで難解な問題も適切な解説を行うことができ、学生全員の理解を得ることができました。2分間の学生自身の確認作業の後、類題演習に進みましたが、その前に総長先生から「わかったかどうか聞いてみるように」「全員に確認するように」「わからなかったらもう一度解説するように」とご指導がございました。難易度の高い問題の場合、より丁寧に回数を重ねて理解の確認を行なう事の重要性を認識いたしました。ここでは全員が理解できたと回答しましたが、類題演習では3分間の解答時間の後、西山先生はさらに重ねて解説を行いました。確認を行った際の学生の反応からさらに解説が必要と判断されたと思います。問題の難易度の違いにより、解説の度合いを工夫することで、全員を理解に導くことができると改めて感じました。

授業の終わりに総長先生から「今回の問題は地方公務員上級の問題だから難しいが、解ければ東京、埼玉、群馬の上級にも合格できる」「どんどん身につけて、是非受かってください、応援しています」と学生へのお声掛けがございました。総長先生から応援していると直接お声掛けいただいたことは、学生にとって大きな励みになったと感じました。学生達は今後もより一層勉強に集中し、公務員合格という目標を達成することを確信いたしました。